

令和7年度(2025 年度) 北海道釧路東高等学校 学校経営シラバス

スクール・ミッション

集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成

目指す学校像(経営方針)

- 1 社会で生きていくために必要とされるコミュニケーション能力や豊かな人間性・社会性を身に付けた生徒の育成に取り組む学校
- 2 地域の特性を生かし、家庭や地域と協力して生徒を育成する学校
- 3 全教職員が働きがいと業務改善の成果を感じながら、協働体制を築くことのできる学校

学校教育目標

何ごととも大切に、まわりから大切にされる人を育てる

スクール・ポリシー

【育成を目指す資質・能力に関する方針】 ～校訓を踏まえた目指す生徒像～

(校 訓)

- 心身ともに健康で自主的精神に富み、責任と協調の精神に満ちた生徒 [自主協調]
- 深い知識と個性豊かな創造性、旺盛な実践力に満ちた生徒 [創意実践]
- 広い視野と進取の気性を培い、情操豊かで清純潑刺とした若さに満ちた生徒 [進取潑刺]

【教育課程の編成及び実施に関する方針】 ～資質・能力の育成に向けた教育課程～

- 生徒一人一人の興味・関心を喚起し、生き生きと学ばせる中で、それぞれが進路目標を達成できる教育課程
- 社会の変化に即応できる基礎・基本の定着を図るとともに、地域の力を効果的に活用する教育課程
- 心身の鍛錬を図る学習活動・特別活動等を通して、自己指導能力を高める教育課程
- 実施状況についての適切な評価及び課題の明確化により改善を図ることができる弾力的な教育課程

【入学者の受入れに関する方針】 ～求める生徒像～

- 進路目標を持ち、その実現に向けて学習に意欲的に取り組み、学校生活を大切にする生徒
- 自己の成長に前向きな姿勢を持ち、学習との両立を図りながら部活動や特別活動等に意欲的に取り組み、学校生活を大切にする生徒

重点事項

重点目標		○ 様々な教育活動や生徒との関わりを通して、自分の良さや課題に気づかせ、自身の成長に向かって前向き且つ真剣に取り組ませる。	
領域	対象	今年度の目標	評価の観点
教 育 活 動	学習指導	(1) 学習の意義を理解させるとともに、学習の成果を実感させることを通して、学びに向かう姿勢を向上させる。 (2) 生徒一人一人の実態に即した学び直しを含めた丁寧な指導を通して、基礎学力を定着させる。 (3) 主体的・対話的で深い学びの推進やICTの活用による授業改善を図り、学習意欲を向上させる。	① 生徒の学びに向かう姿勢(学習習慣や授業態度)は望ましいものとなっているか。 ② 生徒の基礎学力は定着しているか。 ③ 生徒による授業評価の結果等から、学習意欲の向上が見られるか。
	生徒指導	(1) 生徒理解に基づいた丁寧な指導・関わりを通して、自律、協調、思いやりや道徳心等の豊かな心を育成する。 (2) 教職員の共通理解による一貫した指導により、望ましい生活習慣・態度を定着させる。 (3) 教職員間及び家庭との連携を通して、いじめの防止や早期発見・解消に努める。	① 生徒の豊かな心は育成されているか。 ② 生徒の生活習慣や生活態度は望ましいものとなっているか。 ③ いじめの防止や早期発見・解消の取組が効果的に実施されているか。
	進路指導	(1) キャリア教育の視点に立った系統的な指導を通して、自己の可能性や将来について深く考える力を育成する。 (2) 自己理解や職業理解を深めさせる指導を通して、進路目標の実現に向け取り組む意欲を向上させる。	① 生徒は自己の可能性や将来について深く考えることができるか。 ② 生徒は自己理解や職業理解を深め、進路目標の実現に向け意欲的に取り組んでいるか。
	健康・安全指導	(1) 教育活動全般に渡る様々な指導を通して、自己の心身を適切に管理する能力を育成する。 (2) 清掃活動やボランティア活動、校舎内外の美化の啓発などを通して、美化意識を向上させる。 (3) 交通安全指導や防災教育等を通して、自他の命と安全を守る意識や知識・技能を向上させる。	① 生徒は自己の心身の健康を自ら適切に管理できているか。 ② 生徒の美化意識が向上しているか。 ③ 生徒は命の大切さを理解し、事故や災害等から自他の安全を守る意識を持って行動しているか。
学 校 運 営	信頼される学校づくり	(1) 自己研鑽及び全体研修を通して、コンプライアンス意識の高い教職員集団を形成する。 (2) 様々な機会を活用して校外への情報発信を充実させ、本校教育に対する理解促進に努める。 (3) 学校運営協議会、地域や関係機関等との連携を通して、教育活動の充実を図る。	① 教職員のコンプライアンス意識は向上しているか。 ② 本校教育の外部への情報発信が積極的に行われているか。 ③ 学校運営協議会や地域や関係機関等との連携が教育活動の充実に役立てられているか。
	組織運営	(1) スクール・ミッションの実現に向けた取組を通して、教職員の協働体制を構築する。 (2) 教職員の心身の健康に配慮するとともに、心理的安全性の高い職場づくりを推進する。 (3) 業務の効率化、役割分担の適正化を図るなど、北海道アクションプラン(第3期)に即した働き方改革を推進する。	① 教職員がスクール・ミッションの実現に向けた思いを共有し、協働できているか。 ② 互いの健康を気遣い協力できているか。ストレスの軽減がされているか。 ③ 時間外勤務の減少や個人の負担感の軽減など、働き方改革の成果が見られるか。
	教職員の資質向上	(1) 教職員間で連携・協働して様々な問題や課題への対応を積み重ねることで、個々の資質を高めるとともに学校全体としての対応力向上につなげる。 (2) 校内外の研修に積極的に参加して各々の力量を高めるとともに、研修成果を校内に還元し学校全体の教育力向上につなげる。	① 問題や課題に対し、教職員間で協働して対応しているか。 ② 研修の機会を積極的に活用し、資質の向上が図られているか。

